

ALINCO

PS1139
FNFH-EE
Copyright Alinco,Inc.

デジタル簡易無線機（総務省技術基準適合品）
AMBE方式 / Bluetooth Module XE1126内蔵
無線局種別コード：3R/3T（登録局）

DJ-DPS71E

ユーザーガイド

アルインコデジタルトランシーバーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機の運用には資格が必要ですが、使用前に総務省総合通信局に登録の手続きをする必要があり、怠ると罰せられます。本書は本製品をお使いになる方向けの簡易ガイドです。登録手続きや機能の設定をされる無線機管理者の方は詳細説明書をお読みください。右の二次元コードからアクセスしてご覧いただけます。本書は運用中、使用者が参照しやすい場所に保管されることをお勧めします。また補正シートや正誤表などが入っている場合は本書とあわせて保管してください。

詳細取扱説明書

[重要]
本書の注意書きは使用者が安全にお使いになるためのものです。管理者が遵守すべき内容は一部含まれていません。管理者は必ず詳細説明書の注意書きもお読みください。

支店・営業所と電子サービスセンター(SC)

東京
〒103-0027 東京都中央区日本橋2丁目3番4号 日本橋プラザビル 14F
TEL.03-3278-5989

名古屋
〒460-0003 名古屋市中区錦2丁目2番24号 いちご丸の内サウスビル 3F
TEL.052-212-0541

大阪 / SC
〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4丁目4番9号 淀屋橋ダイビル 13F
TEL.06-7636-2361

福岡
〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目1番34号 エコビル 2F
TEL.092-473-8034

無線・電源 機器のアフターサービスに関するお問い合わせは
お買い上げの販売店またはフリーダイヤル ☎ 0120-464-007

全国どこからでも無料でお客様のご相談窓口につながります。

受付時間：月曜～金曜 AM10～12 / PM1～5（土日祝日と休業日を除く）
Eメール：https://www.alinco.co.jp/>事業案内>電子事業部>お問い合わせ

記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。
本文中ではTM、®などのマークを省略しています。許可なく複製、複写を禁じます。
本機は日本国内専用モデルです。電波行政の違いから海外ではお使いになれません。
This product is for use only in Japan due to differences of radio administrations.

使用上のご注意

別紙の「安全上のご注意」を必ずお読みください。本書に記載していない重要な安全上、使用上の注意点と免責事項についてご説明しています。

■電波法上のご注意

- 本機はデジタル簡易無線登録局です。使用するにはあらかじめ、登録申請や開設届の提出が必要になります。
- 他局の通信を妨害したり、傍受した内容を他に漏らしたり、傍受した内容を無断で使用することは法律で固く禁じられており、違反すると罰せられます。
- 本機は日本国の河川湖沼を含む陸上、領海と接続水域、及び排他的経済水域内でお使いになります。上空での使用は違法で罰せられます。規格の違いから、海外では使えません。
- 届け出た住所やお客様の名前が変わったり、廃局したり、他人への貸し出しをするときも届け出が必要です。詳しくは管轄の総合通信局におたずねください。

■航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、病院や医療介護施設、無線中継所など無線機器の使用が制限されている場所で使うと罰せられます。

■本機を複数台でご使用いただく場合、至近距離（10m程度が目安）で同時に通信しないでください。異なるチャンネル同士であっても、強い電波が影響合って通話ができませんことがあります。

■本機を分解、改造したり、本体背面に貼り付けてある証明ラベルを剥がして使用することは法律で固く禁じられています。

■通信のできる距離は周囲の状況によって大きく異なります。本機に採用されている電波は直進性が高く、間に構造物や地形などの障害物があると通信できる距離が短くなります。

■本体背面及び上面に貼られている黒いシールは剥がさないでください。防水性能を維持できなくなります。

■本機の秘話機能は第三者に通信内容が聞かれる可能性を低くするものであり、無線の性質上、通信の秘匿性を保証するものではありません。

■Warning

This product is permitted to use within Japanese territory and territorial-water only. Aviation use is strictly prohibited. A radio operator license is NOT required but a registration to authority is mandatory prior to use. Registration instruction is included. Misuse violates the Radio Law of Japan and shall be subject to fine or punishment.

The AMBE+2™ voice compression software included in this product is protected by intellectual property rights including patent rights, copyrights and trade secrets of Digital Voice Systems, Inc. The user of this software is explicitly prohibited from attempting to decompile, reverse engineer, or disassemble the object code, or in any other way convert the object code into a human-readable form. US Patent Nos. : #8,595,002, #8,359,197, #8,200,497, and #6,912,495.

Bluetooth® について

本機に内蔵している Bluetooth Module (XE1126) は総務省技術基準適合品です。分解、改造することは、法律で固く禁じられています。電子レンジの近くで使うと電磁波の影響で通話できなくなることがあります。妨害を受けたときは電子レンジから離れてください。

■Bluetooth 機能による電波干渉について
本機の Bluetooth 機能を使用するときは、以下についてご注意ください。Bluetooth に使用される 2.4GHz 帯では、産業、科学、医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、アマチュア無線局が運用されています。

- 本機の Bluetooth 機能を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、2.4GHz 帯のアマチュア無線局などが運用されていないことをご確認ください。
- 万、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更するか、Bluetooth 機能をオフにしてください。
- その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局、アマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、弊社サービスセンターにご相談ください。

■2.4GHz 現品表示記号の意味について
「2.4」：2.4GHz 帯を使用する無線設備
「FH」：FHSS 方式
「1」：想定干渉距離が 10m 以下
「ー」：全帯域を使用し、かつ移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、アマチュア無線局の帯域を回避不可

■Bluetooth の登録商標 / 著作権について
Bluetooth のワードマーク及びロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、アルインコ株式会社はこれらのライセンスに基づいて使用しています。

付属品一覧

本製品には以下のものが付属しています。ご使用前に確認してください。ベルトクリップは装着済みです。不足がありましたら、まず販売店にご相談ください。

☐ 本体

☐ Li-ion バッテリーパック

A仕様：EBP-198(7.2V 2200mAh)
B仕様：EBP-199(7.2V 3200mAh)

☐ シングル充電スタンド EDC-326R

☐ ACアダプター EDC-215

☐ ベルトクリップ（装着済み）EBC-46

☐ ミドルアンテナ EA-247

☐ ユーザーガイド

注意

- 保証書に購入の日付が記載されていないときは、レシートを保証書と一緒に保管してください。ご購入日が証明できる書類がないと保証サービスは無効となります。ご注意ください。
- 設置や取付けに使用するネジは、付属または指定のものをお使いください。

アンテナの取付け、取外しの方法

アンテナの根元を持って時計方向（右）に回転が止まるまで回します。外すときは反時計方向（左）に回します。無線機側のアンテナコネクターはSMA-J、アンテナ側はSMA-Pです。

■取付け
本機に接続できるアンテナは、本機の技術基準適合証明を受ける際にあらかじめ弊社が届け出をした形状と利得のアンテナに限られます。新しく発売される市販品には対応しない場合があります。アンテナについては弊社 HP の本機の製品紹介ページでご説明しています。

バッテリーパックの取付け、取外しの方法

■取付け

バッテリーパックを本体のツメに合わせ、矢印の方向に押し込んでしっかりと固定します。ロックレバーが固定されているか確認します。

■取外し

本体のロックレバーを下げてバッテリーパックをスライドさせて取り外します。

バッテリーパックの充電

注意

- バッテリーパックをお買い上げいただいたとき、または長い間使用しなかったときは、フル充電してからお使いください。
- 本機専用の AC アダプターと充電スタンド以外の使用は危険です。絶対におやめください。
- 長時間充電したままにしておくと、バッテリーパックを劣化させることがあります。（過充電）
- バッテリーパック及び充電器の充電端子はときどき乾いた綿棒などで清掃してください。汚れていると接触不良の原因となります。（この際に充電端子を変形させないようにご注意ください。）

EDC-326R

※最大 6 台連結して充電できます

AC アダプター (EDC-215)

プラグ

EDC-326R

AC アダプター (EDC-188)

充電スタンドと AC アダプターを図のように接続してバッテリーパックを充電します。充電スタンドのランプが赤色に点灯し、充電が完了するとランプが緑色になります。

参考

- Li-ion バッテリーパックの保存で最も劣化しやすいのは放電状態。次に満充電状態です。長期保存するときは表示の電池マークが1目盛減っているのを目安にし、本体から外して乾燥した冷暗所に保管してください。1か月を目安に本体に装着して状態を確認。電池マークが空になったら1時間程度補充充電してください。
- Li-ion バッテリーパックは使用・保存状態にかかわらず、数年で劣化する性質を持っており、特に長期使用は発熱、発火の危険が高くなります。3年を目安、長くても5年以内に新品にご交換ください。
- 充電スタンドのランプが赤色に点滅した場合は正常に充電が完了していません。無線機の電源が入っている場合は電源を切って充電するか、バッテリーパックを無線機から外して単体で充電してください。
- 非常時の備蓄などでバッテリーパックを装着した状態で長期保管するときは、週に一度は本体から外して液漏れや放電していないことを確かめてください。待機電流があるためバッテリーパックは徐々に放電します。

本体の名称と動作

■本体

インジケーター

アンテナ

PTT キー

マイク

短縮キー

ディスプレイ

キーボード

ノイズマイク

SP/MIC 端子

※使用する際には無線機の電源をお切りになり、しっかりと奥までねじ込んでください。取付けが緩いと異常な動作の原因になります。

※工具を使って無理にねじ込むと壊れます。

電源 / 音量ツマミ

(背面)ベルトクリップ

※ベルトクリップは装着して出荷されます。時々ゆるみがないか点検してください。不要な時はドライバーでビス2本を外してください。

名称	機能
PTT キー	押すと送信します。離すと受信待受状態に戻ります。
短縮キー	よく使う機能を割り当てることができます。
インジケーター	緑点灯：受信 赤点灯：送信 水色点灯：接客モード動作中 水色点滅：短縮キーで音量固定中 赤色・緑色の交互点滅：ペアリングモード 白フラッシュ（赤または緑点灯中）：緊急通報送信または受信 黄フラッシュ：電池電圧低下 紫フラッシュ：イヤホン断線検出 青フラッシュ：呼び出しあり（ベル機能動作時） / 未読メッセージあり
キーボード	機能キー 押すとセットモードになります。項目の設定にも使います。長押しでペアリングモードになります。
	戻るキー セットモードの操作に使います。個別通信時には個別→グループ→全局と通信相手を切り替えます。長押しでキーロック設定 / 解除ができます。
	▼/▲キー チャンネル番号、各設定項目の UP/DOWN

■ディスプレイ表示

1 2 3 4 5 6 7 8

15W 秘 子機 自動 P セーブ

CH 01

UC: OFF

9 10 11 12 13 14 15

	説明
①	受信した電波のレベルに応じて 4 段階に点灯します。送信時には別の送信アイコンが表示されます。
②	5W 送信出力レベルを表示します。
③	着信があったことを知らせるベル機能設定時に点灯します。
④	秘 秘話通信設定時に点灯します。
⑤	子機間通話禁止機能で子機設定時に点灯します。
⑥	Bluetooth 設定時に点灯します。
⑦	キーロック動作時に点灯します。
⑧	バッテリー残量を表示します。
⑨	未聴の録音データがあるときに点灯します。
⑩	未読のショートメッセージがあるときに点灯します。
⑪	コールバック機能設定時に点灯します。
⑫	VOX 機能設定時に点灯します。
⑬	オートパワーオフ機能設定時に点灯します。
⑭	プライベートチャンネル機能動作時に点灯します。
⑮	バッテリーセーブ機能設定時に点灯します。
⑯	CH 01 送信・受信チャンネル番号（周波数）や各設定内容を表示します。
⑰	UC：OFF ユーザーコードや自局 ID、グループを表示します。

操作する前に必ずお読みください

■電波法について

全てのデジタル簡易無線登録局には電波法に基づく下記の制限が設けられています。

●キャリアセンス

混信や妨害を防止するため、使用中のチャンネルでは送信をさせない機能です。送信操作してもディスプレイに「CH使用中」と表示されます。受信を示すアンテナアイコンが消えるまで待つと、別の空きチャンネルを探してください。

●タイムアウトタイマー（送信時間制限）

1回の通信で連続して送信できる時間は、「5分以内」と電波法で定められています。時間を超えると強制的に送信解除され、そのあと1分間は送信できなくなります。Aさんが5分間話し続けるだけでなく、AさんとBさんが間を置かずにてきばき通話しているのも1回の通信とみなされます。応答するまでに3秒以上の間を取るとタイマーはリセットされます。初期設定では3分経つと残り時間が表示され、時間制限の30秒前にビープ、5秒前にビー音で警告します。

■通信の互換性について

本機の音声のデジタル化技術（コーデック）はAMBE+2™方式です。他社のデジタル簡易無線登録局ともチャンネルを合わせればユーザーコードと32,767通りの秘話を使って通話できます。RACWI方式とは通話できません。個別呼び出しや各社独自の技術を用いた機能はメーカーが違うと動作しません。

■ ボタン（キー）の押し方

正しく押さないとう動作をします。

- 本書の説明でキーを「押します」とは、押した後すぐに指を離すことを指します。
- 「長く押す」「長押しする」とは機能が動作するまで押し続けることを指します。長押しで思わぬ動作をしたら、もう一度長押しすると元に戻ることがほとんどです。

電源のオンオフ/音量・CH番号の設定

■ 電源のオンオフ

電源 / 音量ツマミを時計方向に回して電源を入れます。電源を切るときは反時計周りにカチッと音がするまで回すと表示が消えます。

■ 音量の調整

電源を入れてからツマミを回すと音量が調整できます。時計方向で大きくなり、反対に回すと小さくなります。音声ガイドでレベルを案内するので、この音声を目安に適切な音量に調整してください。イヤホン使用時は音量を最小にしてから、ゆっくり音量を上げてください。

■ チャンネル番号の設定

待受画面で「▼/▲」キーを押し、交信相手と同じチャンネルを選択します。キーを押し続けると連続してチャンネルが切替わります。CH15は呼び出し専用です。通話するときとは別のCHに移動します。

注意 CH26～30とCH71～82はデータ通信での使用が推奨されています。音声での通話はお控えください。

通話する

■ 受信する

信号を受信すると、インジケーターが緑に点灯し、受信した信号レベルに応じてディスプレイのアンテナアイコンが表示されます。信号の強さやユーザーコードなど条件を満たすと音声聞こえます。個別通信のときは相手局の個別IDが表示されます。

注意 インバーター内蔵の電気製品（LED 照明、DC-AC インバーターなどの車載機器）の近くではノイズが発生して、受信障害になることがあります。

■ 送信する

「PTT」キーを押すと、インジケーターが赤色に点灯し送信します。「PTT」キーを押したままで、マイクと口元は 5cm ほど離して、通常の声量で話します。「PTT」キーを離すと受信待受状態に戻ります。デジタル無線の性質上、「PTT」キーを押してすぐ話し出すと初めの言葉に「頭切れ」が起こりますので、一呼吸置いてから話すように心掛けてください。

注意 ●マイクに向かって話すとき、声が大きすぎたり口元が近すぎたりすると歪み、声が小さいと相手が聞き取れなくなります。
●本機は防水を施すため、内蔵マイクの手前に特殊な布製素材を装着しています。このため、内蔵マイクを使用したときと外部マイクなどのアクセサリーを使用したときで若干音質が変わって聞こえる場合がありますが、異常ではありません。
●マイク穴をステッカーやラベルを貼ったり、手や指でふさがないでください。声を拾わなくなります。

セットモード

本機の機能を使ったり、用途や好みに合わせてカスタマイズするための基本操作です。業務用途ではあらかじめ販売店がプログラムして納品することがあります。本書の説明と異なることがあるときは販売店にご相談ください。めったに変更することがない項目を集めた拡張セットモードもあります。セットモード操作をするときは必ず詳細説明書も参照ください。用途に合っていないと思うように通信できなくなります。

■ 通常のセットモード

- 1：待受画面で「機能」キーを押すと「セットモード」と「通信設定」のような項目（メニュー）が表示されます。
- 2：「▼/▲」キーを押して設定したいメニューに合わせ、もう一度「機能」キーを押して次の項目を選択します。
- 3：「[-▼▲-変更] [-戻る-完了]」のような選択画面が出るまで「機能」キーを押します。
- 4：表示される説明を参考に「▼/▲」キーや「機能」キーを操作します。
- 5：「戻る」キーを押すと新しい設定を保持して一つ前の画面に戻り、「PTT」キーを押すと確定して待受画面に戻ります。

■ 拡張セットモード ※本文中で<拡張>と記載された機能の操作に必要です。

- 1：一度電源を切り、「機能」キーを押しながら電源を入れます。
- 2：「拡張設定有効？」と表示されたら「機能」キーを押します。
- 3：セットモードに入ると「セットモード+」と表示されます。

※拡張セットモードを変更後に上記の操作を繰り返すと、設定を反映したまま通常セットモードの項目だけを表示します。

※リセット操作をすると拡張も含めて全てのセットモードを初期化します。

これ以降は「「機能」キーを押してセットモードに入り…」のような説明は省略して「セットモードのXX項目で〇〇して…」のように説明します。

Bluetooth機能

本機は、最大 8 台までの Bluetooth 対応アクセサリーを登録できます。複数のアクセサリーを登録するときは、正しく動作することを確認しながら 1 台ずつ個別に行ってください。

■**Bluetooth 対応イヤホンマイク、スピーカーマイク**

本機の Bluetooth 機能に対応するマイクを使って通話ができます。

●Bluetooth の通信範囲は約 10m(目安)です。マイクの電波が本機に届く範囲は通話できるので、使用者が移動することが無い用途であれば本機を体から外して、机の上に置くなどすると通話エリアが広がる場合があります。

●ノイズキャンセラー内蔵の Bluetooth ワイヤレスマイクはペアリングするだけで自動的にノイズキャンセル機能が働きます。ただし、騒音の種類によっては音声品質を低下させることがあり、機能をオフできるようになっています。使用場所の環境が変わったら設定を戻し忘れないようにご注意ください。

●下記の機能は Bluetooth に接続していると使えません。Bluetooth の設定をオフにしたうえで、有線式のマイクをお使いください。

- 接客モードのタッチモード
- コールバック
- ノイズキャンセル

■ **ペアリング方法**

ペアリングとは Bluetooth 対応アクセサリー(本項目中、以下アクセサリー)と本機をお互いに登録し、接続をする操作のことです。

注意	●複数の Bluetooth 機器がある場所では、ペアリングしたいアクセサリーを正しく検索できないことがあります。このような時は必要なアクセサリーだけになるように、使っていない Bluetooth 機器の電源を切るか、それらの機器から離れてください。
	●リセットすると登録されたペアリング情報は全て消え、復元できなくなります。あらかじめ登録したい機器とペアリングしてください。
	●8 台を超えてペアリングすると、古いペアリング情報は自動で消えます。ペアリング情報が消えたら、再度ペアリングしてください。

操作を始める前に、それぞれの機器を充電して電源が切れないようにします。イヤホンマイクであれば、イヤホンを耳に装着します。

- DJ-DPS71E の Bluetooth 機能をオンにしてペアリングモードにする(初めての使いの時は電源を入れるだけで、この項目の操作は不要です。)
 - セットモード「各種動作設定」の「Bluetooth」を選択、「機能」キーを押します。
 - 「▼/▲」を押して「オン」に設定します。Bluetooth 機能がオンになっていると、待受画面に ✖ が表示されます。
 - 待受画面で「機能」キーを約 5 秒間長押しすると、インジケーターが赤と緑の交互点滅し、ペアリングモードになります。

- アクセサリー(EME-80BMA/EMS-87B/BNC)をペアリングモードにする操作の前にアクセサリーの取扱説明書もお読みください。
 - アクセサリーのインジケーターがオレンジ色に点灯後、緑で早く点滅するまで「電源」ボタンを長押しします。
 - 「ペアリング中です」と音声が入聞こえ、インジケーターが緑で早く点滅したら、「電源」ボタンから手を離します。
※ペアリングできる無線機が見つからない状態が5分つづくと、電源が切れます。
- DJ-DPS71E とアクセサリーをペアリングする
上記の操作で本機とアクセサリーが共にペアリングモードになると自動で接続します。接続できたら本機の Bluetooth アイコンが ✖ から ✎ に変わります。

📖 参考	一度ペアリングしたアクセサリーとは、それ以降毎回ペアリングする必要はありません。下記の条件を満たしている場合、自動で接続します。 ●無線機の Bluetooth 機能が「オン」 ●無線機が待ち受け状態 ●アクセサリーが「オン」
-------------------	---

注意	Bluetooth の通信は、周辺機器（電子レンジ、無線 LAN、他の Bluetooth 機器）の影響で通信範囲が著しく変化したり、ペアリングが切断されることがあります。このような場合は、ほかのワイヤレス通信を停止させたり、電子レンジなどの使用を中止したり、周辺機器との距離を離すなどしてください。また、Bluetooth 機器と本製品の距離をできるだけ近づけると、通信状況が改善することがあります。
-----------	---

本体内蔵マイクまたは、有線式マイク類を使用時

本機の電源を入れるとすぐにペアリングモードとなりインジケーターが赤と緑に点滅を始めます。本体内蔵、または有線式マイク類をお使いになるときは以下の操作をしてください。

電源 / 音量ツマミを時計方向に回して電源を入れ、起動ピープ音が鳴るまで待ちます。

- 「機能」キーを押して [セットモード] を表示させる。
 - 「▼/▲」キーを押して「各種動作設定」を選択する。(バックが濃い色になる)
 - 「機能」キーを押して [各種動作設定] メニューにする。
 - 「▼」キーを押して「Bluetooth」を選択する。
 - 「機能」キーを押して「Bluetooth」メニューにする。
 - 「▼/▲」いずれかのキーを押してオン表示をオフに変える。
 - 「PTT」キーを押して待受画面に戻る。
- Bluetooth アイコンとインジケーターの赤緑点滅が消えたことを確認してください。

ユーザーコード通信と秘話通信

ユーザーコード通信と32,767通りの秘話通信は、メーカーが異なっても通信できます。

■ **ユーザーコード(UC)通信**

ユーザーコード通信は、同じチャンネルにあわせていても、ユーザーコード(以下UC)が一致している人同士だけでしか通信できない方式です。通話したいグループのメンバー全員に同じUCを設定してください。

- 1：「セットモード」画面で「▼/▲」キーを操作して「通信設定」を選び、「機能」キーを押します。
 - 2：「ユーザーコード」を選択し「機能」キーを押します。「オフ」または3桁の数字が表示されます。
 - 「▼/▲」キーを操作して1桁目の数字を選択、「機能」キーを押すごとに桁が移動するので、任意の3桁の数字を選択します。
 - 「戻る」キーを3回押すか「PTT」キーを押すと待受画面に戻り、設定したUCが表示されます。
- ※ユーザーコード画面で「戻る」キーを長押しするとUCをオフにできます。もう一度「戻る」キーを長押しすると元のUCに戻ります。

■ **秘話通信**

秘話コードが一致した無線機間でのみ交信できる機能です。それ以外は「ギャラギャラ」音になり、通話内容を他人に聞かれません。

- 1：セットモード「通信設定」の「秘話コード」を選び、「機能」キーを押します。
 - 2：「オフ」または5桁の数字が表示されます。
 - 「▼/▲」キーを操作して1桁目の数字を選択します。「機能」キーを押すごとに桁が移動するので任意の5桁の数字(32,767通り)を選択します。(左端5桁目は0～3、その他の桁は0～9を選択できます。)
 - 「戻る」キーを3回押すか「PTT」キーを押すと待受画面に戻り、「オフ」以外の場合は「秘」アイコンが表示されます。
- ※「秘話コード」画面で「戻る」キーを長押しすると秘話コードをオフにできます。もう一度「戻る」キーを長押しすると元の秘話コードに戻ります。

- **強化秘話**
※他メーカーとの互換性はありません。
- 前述の秘話コードを強化した、アルインコDCR-PROシリーズ登録局だけが通話できる高度な秘話設定ができます。この強化秘話は標準秘話の32,767通りとは別に15通りの秘話タイプを追加することで、491,505通りの設定ができます。
- 1：前項を参照して秘話コードを設定します。続けて選択画面で「戻る」キーを押し、「▼/▲」キーで「秘話タイプ」を選び「機能」キーを押します。
 - 2：「標準秘話」と表示されます。その場所で「▼/▲」キーを操作し「強化秘話」01～15のいずれかを選び「PTT」キーを押して確定させます。
- ※通話グループ全員に同じ秘話タイプと秘話コードを設定します。UCも兼用できます。

個別通信

※**事前の設定が必要**です

セットモード「個別設定」の各項目を設定することで、交信相手を個人、グループ、全体と指定して呼び出すことができます。あらかじめ無線機1台ごとに自局IDやグループを設定する必要があります。手動でも操作・設定は可能ですが、無線機の数が多くなると設定や個体管理が面倒なので、通常はPC編集ソフトを使います。
ここではあらかじめIDが登録されているときの呼び出し方法だけを説明します。

- **呼び出し**
- 1：セットモードで「個別設定」の「個別通信動作」を選び、「▼/▲」キーを操作して「オン」に設定します。
 - 2：「戻る」キーを押して「個別設定」メニューに戻り、「通信相手選択」を選びます。(初期設定：全局)
 - 3：「個別001」のような選択画面で「機能」キーと「▼/▲」キーを操作して通話したい相手の自局IDを設定します。最後に「PTT」キーを押して確定させます。
- ※選択画面での設定は点滅している表示を「▼/▲」キー操作で変更します。点滅する表示は「機能」キーを押すごとに切り替わります。
- ※ユーザーコード通信と個別通信では通信できません。どちらかの通話方式に統一してお使いください。
- ※待受画面で「戻る」キーを押すごとに交信相手を個人、グループ、全体に切り替えることができます。

便利な機能(抜粋)

本機に搭載されている便利な機能の代表的なものです。ここに説明がないものは詳細説明書をご参照ください。

■ **キーロック**

誤操作でCHや設定が変わってしまうことを防げます。待受画面で「戻る」キーを長押しするとディスプレイに「🔒」アイコンが点灯します。キーロック中は「PTT」キー、「短縮」キーの一部、「緊急通報機能」、電源の入/切、音量の調整のみが可能です。もう一度「戻る」キーを長押しして「🔒」アイコンを消すと解除されます。

■ **プライベートチャンネル**

よく使うチャンネルへのショートカットです。セットモード「各種動作設定」の「短縮キー動作」を「プライベートCH」に設定します。次にセットモード「プライベートCH設定」メニューからショートカットしたいチャンネルを「▼/▲」キーで選択して待受画面に戻ります。「短縮」キーを長押しすると設定したプライベートチャンネルに移行して「P」アイコンが表示されます。もう一度、長押しすると元のCHに戻ります。

■ **受信音量一定化**

送信者ごとに異なる声の大きさを同等のレベルに調整します。セットモード「受信設定」の「音量一定化」で設定できます。小声中聞き取りにくいケースが多ければ”小音増幅強”、大声で音が歪みがちなときは”大音抑制”にします。

■ **受信音質調整**

受信音質を調節できます。セットモード「受信設定」の「低音域抑制」「高音域抑制」それぞれで、抑制レベルを調整できます。低音を抑制すると高めの音が、高音を抑制すると低めの音が強調されます。

■ **ノイズキャンセル、ノイズ抑制<拡張>、トーン抑制<拡張>**

送受信に入る音声以外のノイズを低減して、音声の明瞭度を上げます。セットモード「送信設定」の「ノイズキャンセル機能」は本体正面のマイクで受けた音声と本体下部に内蔵されているノイズ用マイクで受けた環境音を比較して、ノイズを軽減します。また「ノイズ抑制機能」はマイクの音声をデジタル処理してノイズを低減します。「トーン抑制機能」はサイレンのような一定周期で鳴る騒音を抑制します。「ノイズキャンセル機能」はレベル調整が可能で、「ノイズ抑制機能」と「トーン抑制機能」はオンオフの切り替えのみです。いずれもオフにすると解除できます。全ての騒音に対応するものではありません。効果を確かめながら設定してください。

■ **短縮キー動作**

「短縮」キーを押したときの動作を選択できます。セットモードの「各種動作設定」の「短縮キー動作」で設定できます。オフにすると「短縮」キーを押しても短縮操作しません。

■ **送信出力**

セットモード「送信設定」の「送信出力」で5W/2W/1W/受信のみに切り替えられます。受信のみを選択すると送信が禁止され、受信のみの運用となります。

■ **内部マイク感度/外部マイク感度**

セットモード「送信設定」の「内部マイク感度」又は「外部マイク感度」で、本体内部マイクや外部マイクの感度を調整できます。通話相手から「声が小さい」と言われたら＋側、「大きい」と言われたら－側の数字を選びます。相手にモニターしてもらいながら、最適値を探します。

■ **UC/秘話関連/送信出力をCHごと**に**個別設定<拡張>**

ユーザーコード、秘話コード、秘話タイプ、送信出力の4項目を、チャンネルごとに個別設定したいときはセットモード「各種動作設定」の「CH通信設定」で「各CHで個別設定」を選択します。初期値は「全CHで共通設定」です。

ビジネスユーザー向けの機能

■ **デュアルオペレーション<拡張>**

メイン/サブ2つのチャンネルを交互に受信、送信するときは異なるキー操作で切り替えを行うことができます。

- 拡張セットモード「デュアルオペレーション」の「動作設定」を「オン」、「メインCH設定」と「サブCH設定」で任意のCH2つを選択して待受画面に戻ります。待受画面でCH01にした後、もう一度「▼」キーを押すとデュアルオペレーションとなり、受信を開始します。
- CH82とCH01の間に表示される専用CHを選択してください。CHが切り替わっているのが画面で確認できたら交互待受を開始しています。
- 受信終了後に動作再開する時間は「再開時間設定」、メインとサブの切替え時間は「CH切替間隔」で設定します。終了するときは「▼/▲」キー操作でCHを変更するか、「デュアルオペレーション」の「動作設定」をオフにします。

送信：メインCHは「PTT」キーを押して送信、サブCHは「短縮」キーを押して送信する。

■ **子機間通話禁止<拡張>**

子機に設定すると、親機に設定された無線機としか通話ができず、親機以外の音声は聞こえなくなります。親機同士は通信できます。子機間で勝手な通話をして親局の統制が取れなくなることが防ぐものです。セットモード「通信設定」の拡張メニュー「親機子機切替」で親機が子機を設定します。親機・子機はそれぞれ複数台設定できます。解除するには全ての無線機を親機に設定してください。

ホビーユーザー向けの機能

デジタル簡易無線をホビーやレジャーでお使いのユーザーに人気の機能です。セットモードで操作します。周波数表示やSメーター表示をオンにすると一部の機能アイコンが表示されなくなります。表示がおかしいときは初期値に戻してください。（ ）内が初期値です。

- **セットモード「各種動作設定」**
- 【上空用CH受信(オフ)】上空用CH(S1～S15)を受信する機能<拡張>
設定値：オフ/オン
- **セットモード「表示設定」**
- 【バックライトタイマー(5秒)】バックライトを何秒後に消灯するかを変更
設定値：消灯/5秒/10秒/30秒/60秒/常灯
- 【コントラスト(8)】ディスプレイの濃さを変更<拡張>
設定値：1～10
- 【CH非表示(オフ)】液晶表示の内容が消えるまでの時間を変更
設定値：オフ/5秒/10秒/30秒/60秒
- 【周波数表示(オフ)】CH番号の代わりに周波数を表示<拡張>
設定値：オフ/オン
- 【Sメーター表示(オフ)】Sメーターを表示<拡張>
設定値：オフ/オン
- 【受信レベル表示(標準)】アンテナマークとSメーターが反応する信号の種類を設定
「標準」はデジタル簡易無線の信号のみ、「拡張」はノイズを含めた全ての信号<拡張>

設定値：標準/拡張

■ **スキャン**

自動的にチャンネルを切り替えて通話の行われているチャンネルを探索することをスキャンと呼びます。セットモード「各種動作設定」の「短縮キー動作」でスキャンを設定しているときに、「短縮」キーを長押しすることでスキャンを開始します。信号を受信するとスキャンは自動で止まり、同じセットモードの「スキャンタイプ」で設定した条件で再開します。スキャン方向は「▼/▲」キーで変更できます。同じセットモードの「スキャンCH設定」でチャンネルごとにスキャンまたはスキップの設定ができます。

多数導入時の初期設定

■ **エアクローン(DJ-DPS71E同士でないとクローンできません)**

設定が済んだDJ-DPS71E(マスター機)の設定データを無線で、複数の個体(子機)に一度にクローンできます。子機はどんな設定でもマスター機のデータにクローンされます。

- 1：設定を済ませたマスター機と、子機全てで、本体の「機能」「▼」「戻る」キーの3つを同時に押したまま電源を入れ、機種名が表示されたら指を離します。画面に「[エアクローン] 短縮長押しで送信 [CH**]」と表示されます。
- 2：「▼/▲」キーでマスター機、子機と同じCHの番号に合わせたらマスター機の「短縮」キーを長押しします。送信が始まり、マスター機は「データ送信中」、子機は「データ受信中」と、進行状態が表示されます。
- 3：終了するとマスター機は「データ送信完了」、子機は「データ受信完了」を表示してピープ音が2回鳴動します。電源を入れなおして動作を確認します。

※クローン機にアンテナを接続すると混信を受けて、エラーになる可能性が高くなります。同じ机の上に並べてその前から送信する程度の距離であれば、クローン側のアンテナを外していてもエアクローンできます。

■ **PCソフト(無料・PCケーブルERW-23又はERW-7とEDS-14が必要です)**

「DCR 2G Clone Utility アルインコダウンロード」で検索して弊社HPから編集ソフトと説明書をダウンロードしてください。CHや機能の設定値をPCで編集できます。製造番号や個別名称をつけてデータを保存すれば個別呼び出しのIDなどの個体管理が簡単にできます。

故障とお考えになる前に

「故障かな?」と思われたら、まず以下の表をお読みください。マイク類や電池類などが原因の不具合もありますので、必ずアクセサリーも点検してください。設定の間違いなどではリセットをすると回復場合がありますが、意図した設定まで初期化されるので注意が必要です。

症状	原因	処置
電源を入れてもディスプレイに何も表示されない	バッテリーパックが接触不良を起こしている	端子の汚れを清潔で乾いた布や綿棒で拭って取り除く
スピーカーから音が出ないⅴ受信できないⅴ「ギャラギャラ」音が聞こえる	バッテリー残量が減っている 音量が低すぎる 「PTT」キーが押され、送信状態になっている	バッテリーパックを充電する 適切な音量に設定する 「PTT」キーを離す
受信中に表示が点滅したり消えたりする	秘話コードが一致していない	秘話コードを一致させる、もしくは送信側と受信側の「秘話」キーをOFFにする
送信ができないⅴ送信しても応答がない	バッテリー残量が減っている	バッテリーパックを充電する
送信ができないⅴ送信しても応答がない	「PTT」キーが確実に押されていない	「PTT」キーを押して、インジケーターを赤色に点灯させてから送信する
	チャンネル(周波数)や通信設定が間違っている	相手局と通信可能なチャンネル・設定に正しく合わせる
	別のユーザーがチャンネルを使用している	信号がなくなるのを待ってから送信する
	出力が低く、相手に届いていない	送信出力を今の設定よりも大きくする
送信ができないⅴ送信すると、表示が点滅したり消えたりする	バッテリー残量が減っている	バッテリーパックを充電する
キーによる操作ができない	キーロックが設定されている プライベートチャンネルになっている	キーロックの設定を解除する 短縮キー動作のプライベートCH 機能を使い、元のチャンネルに戻る
表示が異常になっている	CPU が誤作動している	リセットする
充電しない	充電端子が汚れている	充電端子の汚れを乾いた布で拭き取る
充電スタンドのランプが赤色に点滅する	充電スタンドの保護回路が働いている	バッテリーパック単体で充電する、もしくは充電時、無線機の電源を切る

リセット

電源を切り、「短縮」キーと「戻る」キーを押したまま電源を入れます。「RESET」が表示されたら「機能」キーを押します。拡張セットモード、録音データ、ショートメッセージを含むすべての設定が初期化されます。

※販売店によって納入前に各設定がプログラミングされているときは、リセットが禁止されていることがあります。

オプション(抜粋)

□EME-32A　　カナル型イヤホンマイク(PTTロック付)
□EME-48A　　耳かけ型イヤホンマイク(PTTロック付)
□EMS-62　　IP54相当スピーカーマイク
□EME-80BMA　Bluetooth対応イヤホンマイク
□EMS-87B　　Bluetooth対応IP67相当防水スピーカーマイク
□EMS-87BNC　Bluetooth対応ノイズキャンセル・スピーカーマイク
□EA-248　　ロングアンテナ
□EHC-70　　ハードケース

※本書に記載されているオプションは一部です。他のオプションについて詳細説明書を参照ください。

定格

送受信周波数	351.200000 ～ 351.631250MHz (CH1 ～ CH70) 351.031250 ～ 351.100000MHz (CH71 ～ CH82)
受信専用周波数	351.106250 ～ 351.193750MHz (上空用チャンネル S6 ～ S15、S1 ～ S5)
電波型式	F1C、F1D、F1E、F1F
アンテナインピーダンス	50 Ω
定格電圧	7.2V
消費電流	2.0A 以下(送信時：5W) 1.2A 以下(送信時：2W) 0.9A 以下(送信時：1W) 500mA 以下(受信時) 150mA 以下(待受時：Bluetooth オン)
外形寸法 (突起物除く) W × H × D	55.8 × 95.8 × 32.5mm EBP-198 装着時 55.8 × 95.8 × 40.7mm EBP-199 装着時
質量(ミドルアンテナ装着時)	約 244g (EBP-198 装着時) 約 266g (EBP-199 装着時)
使用温度範囲	－ 20℃～+ 60℃
充電温度範囲	0℃～+ 45℃
送信出力	5W/2W/1W(偏差：+ 20%、－ 50%)
変調方式	4 値 FSK
受信感度	－ 5dBμV EMF 以下 (BER1 × 10 ⁻²)
低周波出力 (10%歪時)	700mW 以上

- 仕様、定格は予告なく変更することがあります。
- 本書の説明用イラストは実物と実態や形状が異なったり、一部の商品を表示している場合があります。
- 本書の内容を無断転載することは禁止されています。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。